



マストツーリングに必須のアプリ BTトーク

インターコムが電波が届く範囲が通話距離の限界、という常識を覆すスマホアプリ
通話できる距離・人数の制限がないだけでなく、見方を変えれば今までにない使い方も可能
そんな革新的な機能と、他社のインターコムでも使えるという汎用性が魅力のアプリだ

そもそもBTトークって どんなアプリ?



メイン画面の中央にあるBTTボタンを押している間、自分の声がメンバーに伝わる

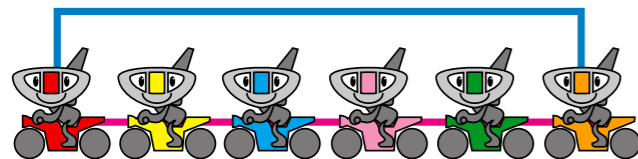
会話グループの一覧。パネルをタップするだけで、簡単にグループを切り替えられる

BTTボタンの起動タイミングをはじめ、かなり細かなセッティングが可能なメニュー

BTトークはインターネット経由で声を送受信できる、いわば“インターコム版LINE” (ボイスチャット) アプリ。アプリ上でグループを作成し、スマホの電話帳の中から

仲間を選んで登録すると、そのメンバー間で会話ができるようになる。会話は画面上のボタンか、別売の「BTTボタン」を押しながら話すと、仲間全員に声が届く

BT NEXT PROなら2系統で通話できる



BT NEXT PROのように“聞きながら話せる”インターコムなら、BTトークの音声を聞きながらインターコム通話ができる。同時に2系統の通話システムが使えるよう

なもので、例えばマストツーリングのメンバーはBTトークで会話をして、リーダーと最後尾は、メンバーには聞かれないインターコム通話で会話するという使い方に最適

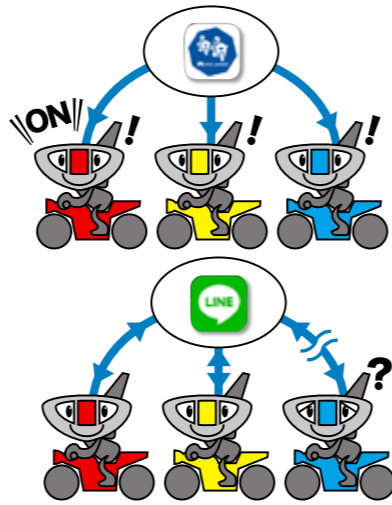
仲間の現在地が 分かるから便利

BTトークは通話ができるだけでなく、通話に参加するメンバーの現在の位置が地図上に表示される。ツーリングの集合前やメンバーが別々のルートで走るようなときに、地図上でお互いの位置を確認できるから、メンバーがはぐれるようなこともない



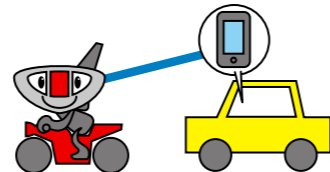
現在地もGPSにより表示!

ライン通話との 違いは?



LINEの音声通話は、話すのと聞くのを同時にできる“電話式”。一方、BTトークは画面上のボタンか、別売りのBTTボタンを押しながら話し、ボタンを離すと他のメンバーの声が聞こえる“トランシーバー式”を採用。電話スタイルだとデータ量が多く、通信環境によっては声が遅れて聞こえてしまうことがあるためだ。BTトークではその遅れを極力抑えるために、あえてこのトランシーバー式を採用している。これにより、高い精度での通話を実現した。

クルマと接続すれば 6輪ツーリング



BTトークはミッドランドのインターコムだけでなく、他社製品でも利用できる。もちろんスマートフォン単体でも機能するため、例えばクルマとバイクで出かけるようなときに、クルマ側はスマホをホルダー等に固定して使うといいだろう

インターコムなら MIDLANDに 任せなさい!



イタリア生まれのインターコム「ミッドランド」の最高峰モデルが「BT NEXT PRO」
デザイン、機能、性能と、そのすべてにオリジナリティが凝縮されている

文/八百山ゆーすけ
問: LINKS TEL075-708-2362 http://www.midlandradio.jp/



MIDLAND BT NEXT PRO Hi-Fi

今夏出荷分から高音質なHi-Fiスピーカーを標準装備し、より聞き取りやすい音声ガイドシステムとなった「BT NEXT PRO Hi-Fi」。デュアルコア搭載により、音楽を聞きながら話せるステレオブレンド機能を実現している。最大同時通話人数も8人と、充実した機能満載の最高峰モデルだ

- 価格: 3万2184円 (ソロ)
- 6万2424円 (ペア)
- 3万2184円 (ホワイトシングル)
- 最大通信距離: 1600m
- 同時通話人数: 最大8人 (バイク4台で、ライダー4人+パッセンジャー4人)
- 他社接続: 2台
- 携帯電話接続: 2台
- 連続通話時間: 20時間
- 防水性能: IPX6相当

Other Model

BT NEXT PROの弟分にあたる2機種も、今夏出荷分からすべて“Hi-Fi”モデルに進化した。ひとり使いやタンデムならBT X1 PRO Hi-Fiを、2~3人で走るなら4人でグループ通話ができるBT X2 PRO Hi-Fiをオススメしたい



BT X2 PRO Hi-Fi
価格: 2万3544円 (ソロ)
4万5144円 (ペア)

BT X1 PRO Hi-Fi
価格: 1万8144円 (ソロ)
3万4344円 (ペア)

音質アップの要が「BT PRO Nd Hi-Fiスピーカー」の採用。ネオジム磁石の強力な磁場が、走行音に負けないパワフルな音を実現した



ミッドランドの革新性を 象徴するスマホアプリ

インターコムは同じ自社の製品とだけ接続ができるという常識を、他社と接続が可能な「ユニバーサルインターカム」機能によって覆したミッドランドのインターコム。その最新モデルである「BTネクスト・プロ・ハイファイ」では、ホルダーのLEDが赤く光ることで後続車に減速を知らせるブレーキライト機能を搭載。この斬新な機能はその独自性から日本で意匠権登録がなされているほどだ。

このようにミッドランドは、常にインターコムに新しいアイデアを投入している。そしてインターコムの通信スタイルすら変えてしまおうというのが、「BTトーク」と呼ばれる通信アプリだ。

このアプリは、インターコム同士が無線で通信する代わりに、インターネットを経由して通信する。そのため電波の到達距離や接続人数といった制限がない(特許申請済)。スマホがネットにつながれば、通話相手はどこにいても通話ができる。このアプリはミッドランド以外のインターコムでも利用できる。さらにはスマホ単体でも動作可能。つまり、BTトークはインターコムで誰とでもつながることができる革新的なアプリなのだ。